

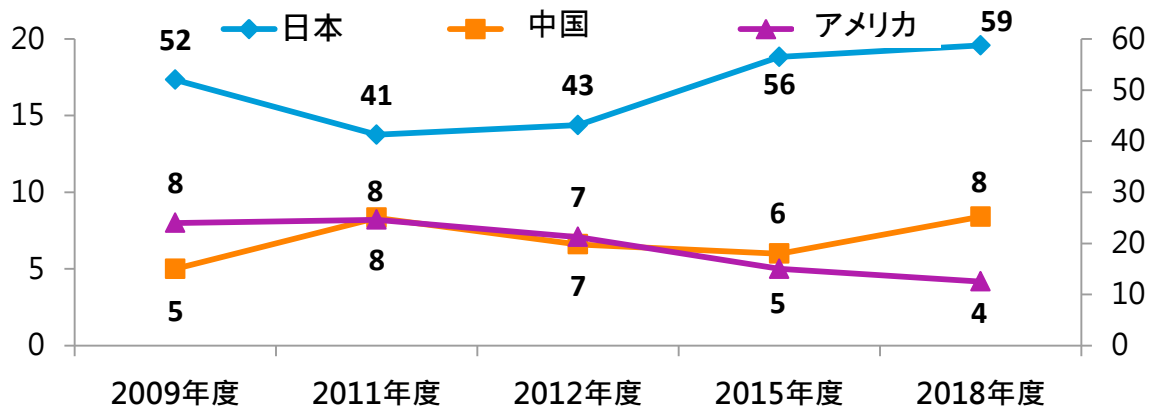
2018年度対日世論調査

(2019年2月) (ダイジェスト版)

●台湾を除き、あなたの最も好きな国（地域）はどこですか。

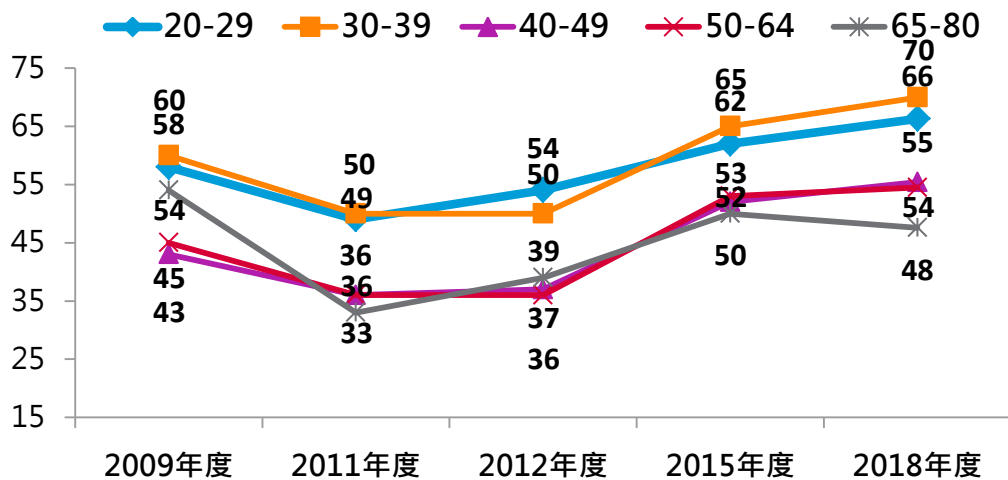
各年度の調査結果において、日本は継続して最も好きな国となっている。2018年度の調査では、日本が好きと回答した比率が過去最高となり、第二位以下を大きく引き離れた。また、中国とアメリカの順位は変わっていない。

台湾を除いて最も好きな国上位3カ国|2009~2018年度



各年齢層の結果を見ると、65-80歳の年齢層の日本を最も好きな国とする比率が僅かに減少しているが、全体では、依然として日本を最も好きな国とする比率は上昇傾向にある。65歳以下の各年齢層の日本を好きな国とする比率は皆50%を超え、前回の調査に比べ上昇しており、中でも30-39歳の年齢層の比率が最も高くなっている。

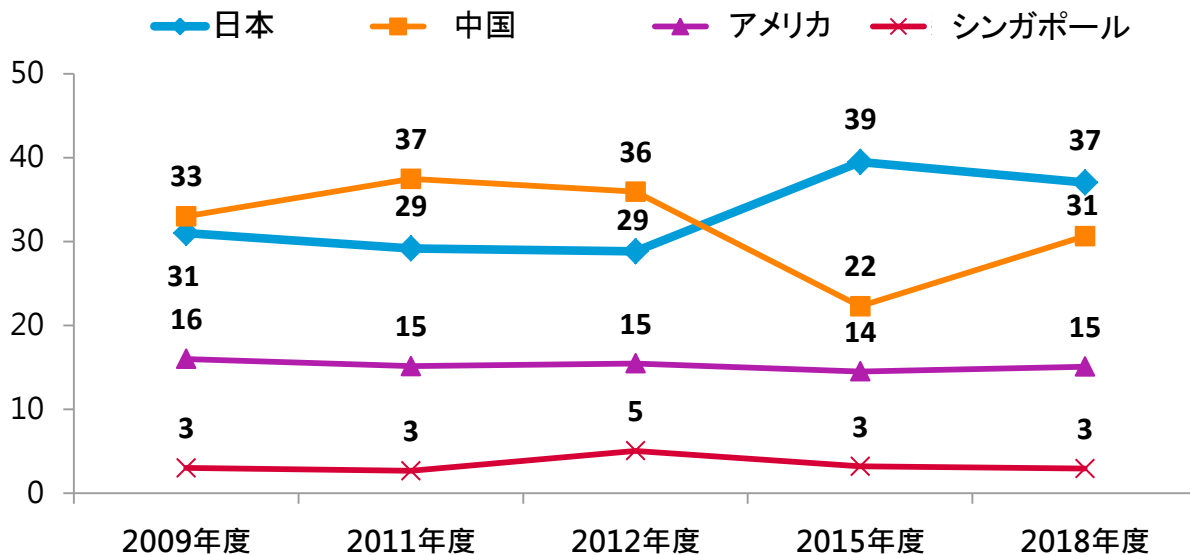
日本が最も好きと回答した年齢層別比率|2009~2018年度



●今後台湾が最も親しくすべき国（地域）はどこですか。

今後台湾が最も親しくすべき国として37%が日本と答え、2015年度とほぼ同じ結果となった。しかし、中国と回答した人の比率は22%から31%と上昇し、一位の日本との差は、17%から6%に縮まった。

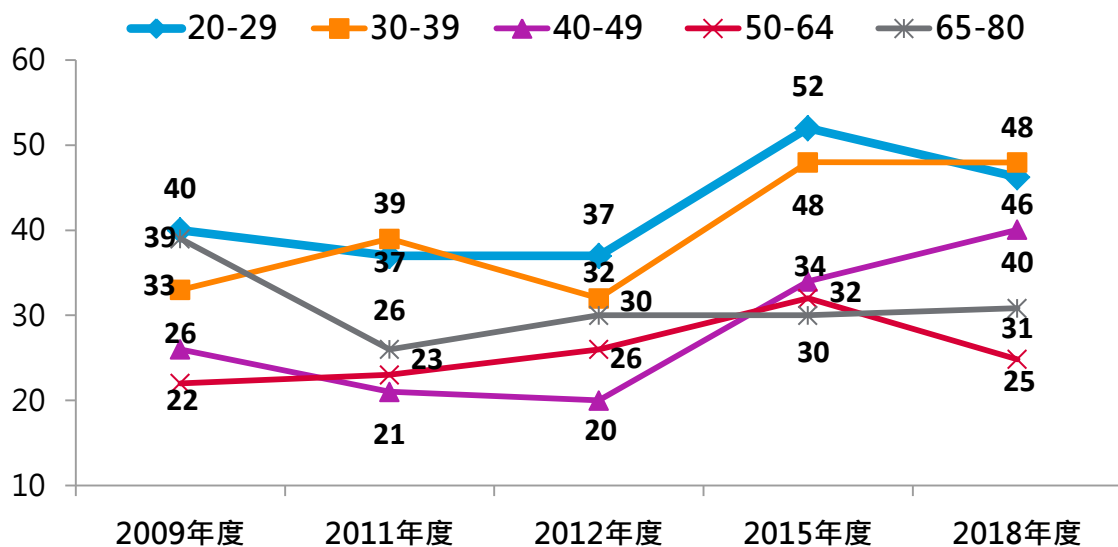
今後台湾が最も親しくすべき国|2009~2018年度



年齢層からみると、今年度、最も親しくすべき国は日本と回答した人の比率は、20-29歳及び50-64歳の年齢層にてそれぞれ6-7%低下したが、40-49歳の年齢層では34%から40%と上昇し、過去最高となった。

今後台湾が最も親しくすべき国を日本とした年齢層別の比較 |

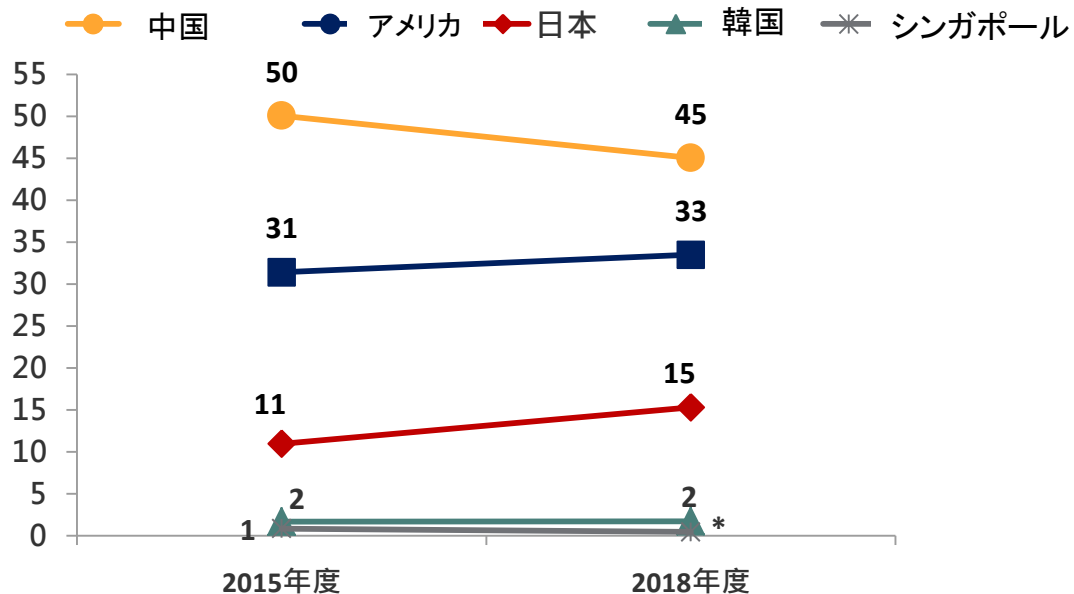
2009~2015年度



●台湾に最も影響を与えている国（地域）はどこですか。

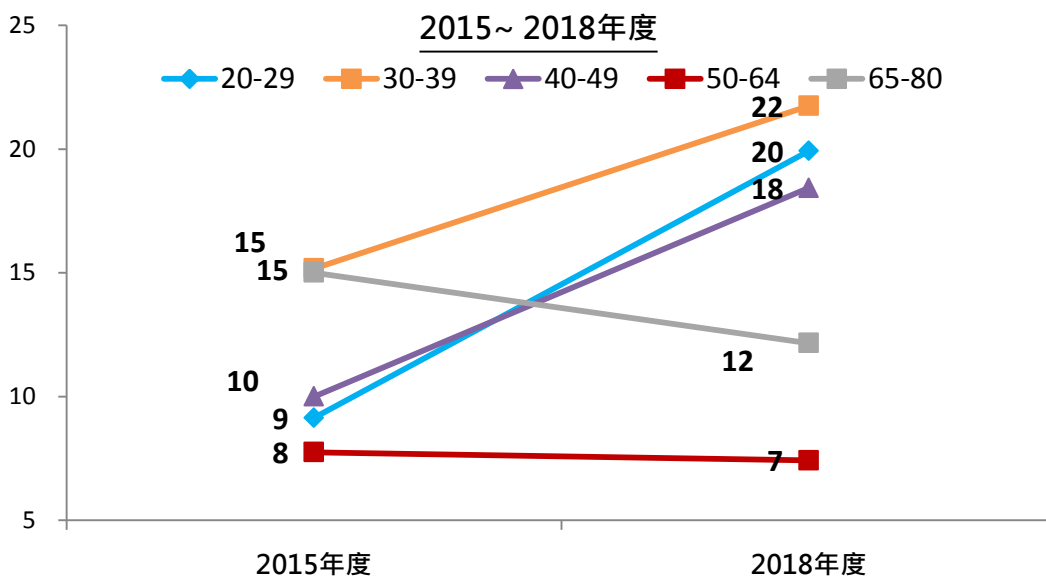
2015年と比較し、台湾が最も好きな国かつ最も親しくすべき国はどちらも日本であるが、依然として比較的多数が、台湾に最も影響を与えている国は中国とアメリカ、と回答している。しかしながら、2015年度の調査と比べ、中国と回答した人の比率は低下しており、日本と回答した人は増加した。

台湾に最も影響を与えている国上位5カ国



各年齢層ごとでは、20-49歳の若年・壮年層において、台湾に最も影響を与えている国は日本とする比率に伸びが見られたが、50歳以上の年齢層では、逆の結果となった。

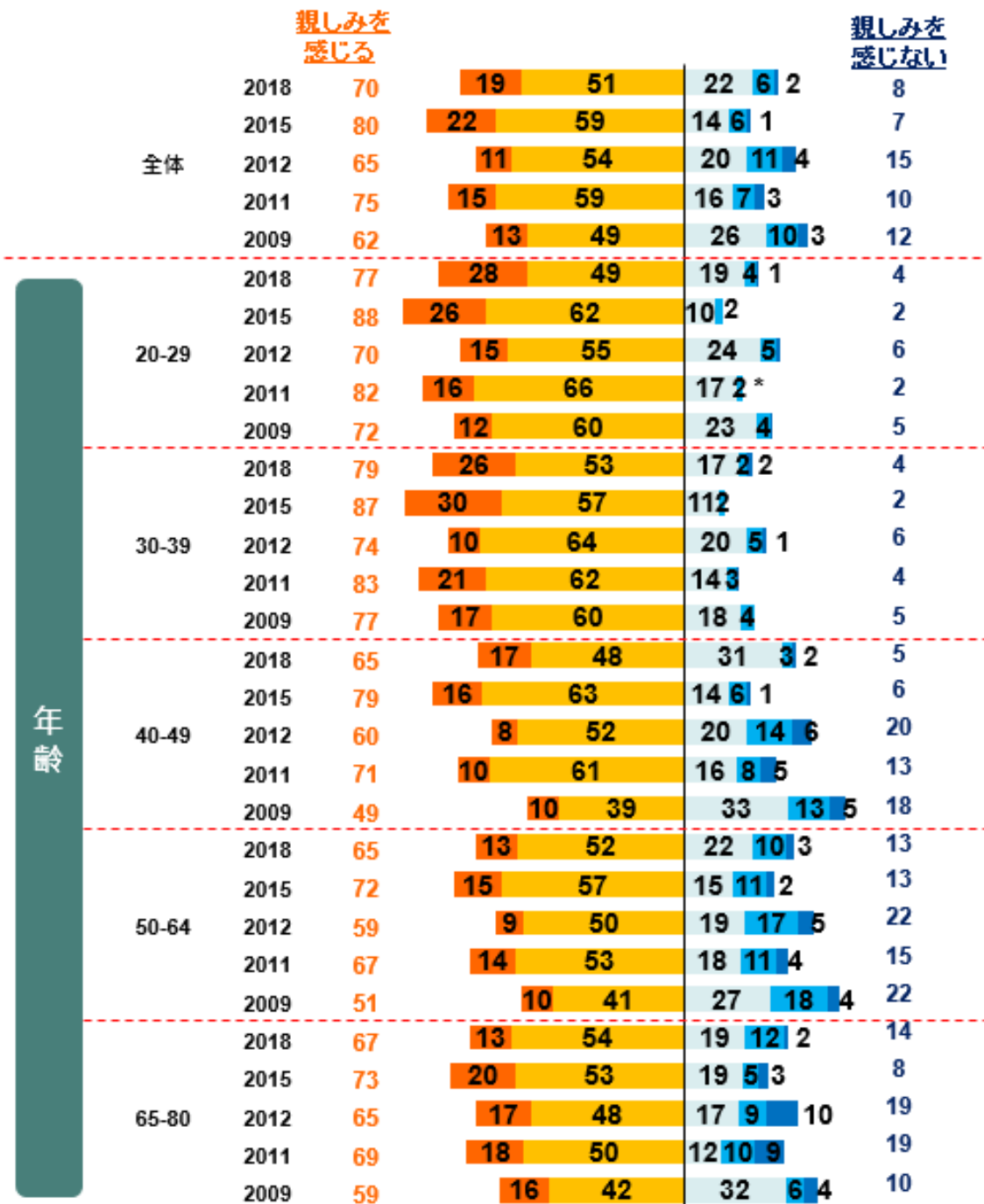
台湾に最も影響を与えている国を日本とした年齢層別の比較



●日本に親しみを感じますか。

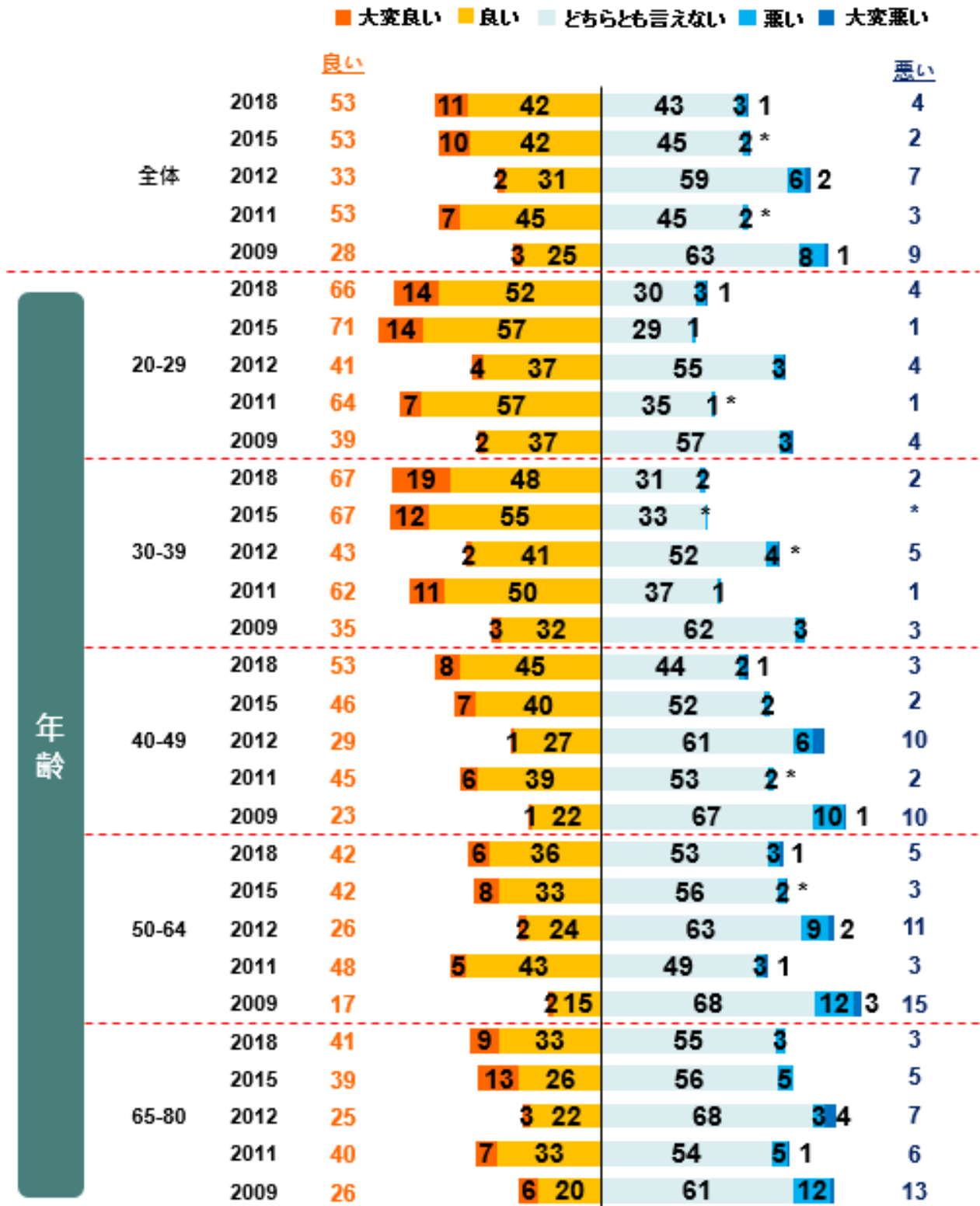
全体的には、2018年度、日本に親しみを感じると考える人の割合に低下が見られ、2015年度の80%から70%に低下した。ただし、親しみを感じないとする人の割合はほぼ同じであり、親しみを感じるとも感じないとも言えないとする人の割合が増加している。

- 非常に親しみを感じる
- どちらかといえば親しみを感じる
- 親しみを感じるとも感じないとも言えない
- どちらかという親しみを感じない
- 非常に親しみを感じない



●現在の日台関係をどう思いますか。

2015年度の結果と同様に、50%以上が日本と台湾の関係は良いと回答しており、より若い年齢層のグループが全般的に日台関係への見方が肯定的であった。



●日本は信頼できる国と考えますか。

日本に対する信頼度については、前回の結果と同様に、50%が日本は信頼できる、40%が信頼できるかできないかわからない、9%が信頼できないと回答した。全般的には、20-39歳の若い年齢層の信頼度が比較的高い。

